

### 【短報】池間島におけるサメハダマルケシゲンゴロウの初記録

池間島ではコマルケシゲンゴロウ *Hydrovatus acuminatus* Motschulsky, 1859 (以下コマルケシと記す), マルケシゲンゴロウ *H. subtilis* Sharp, 1882 (以下マルケシと記す), オオマルケシゲンゴロウ *H. bonvouloiri* Sharp, 1882 (以下オオマルケシと記す), チビマルケシゲンゴロウ *H. pumilus* Sharp, 1882 (以下チビマルケシと記す), ヤギマルケシゲンゴロウ *H. yagii* Kitayama, Mori et Matsui, 1993 (以下ヤギマルケシと記す) の5種のマルケシゲンゴロウ属 (以下マルケシ属と記す) の種が記録されている (Satô & Komada, 1999; 青柳, 2011). 青柳 (2011) では, コマルケシは採集データを伴わない形で表中のリストにのみ掲載されており, マルケシは採集データが掲載されていたもののリストには掲載されていなかった。著者の青柳氏に確認をお願いしたところ, 青柳 (2011) で報告したマルケシはコマルケシの誤りであることをご教示いただいた。したがって, 池間島で記録されているマルケシ属の種はコマルケシ, オオマルケシ, チビマルケシおよびヤギマルケシの4種ということになる。

筆者らは, 池間島初記録となるサメハダマルケシゲンゴロウ *H. stridulus* Biström, 1997 (以下サメハダと記す) を確認しているの



図1. 池間島産サメハダマルケシゲンゴロウ.



図2. 池間島における両種の生息環境 (池間湿原)。

島初記録として報告する。併せて, 同所的に採集されたコマルケシの情報も追加記録として報告する。

報告に先立ち, 採集にご同行いただいた上野由里代氏 (魚部), 池間島のマルケシゲンゴロウ属についてご教示いただいた沖縄県 RDB 昆虫類分科会委員の青柳克氏に御礼申し上げる。

12 exs. (サメハダ; 図 1), 9exs. (コマルケシ), 沖縄県宮古島市平良池間池間島池間湿原, 9. VIII. 2017, 井上採集・筆者ら保管。

サメハダとコマルケシは池間湿原 (イースプー) で採集し, ごく浅い岸際の植生の中から得られた (図 2)。同所からは, ツヤコツブゲンゴロウ *Canthydrus nitidulus* (Sharp, 1882), オオマルケシ, ミナミツブゲンゴロウ *Laccophilus pulicarius* Sharp 1882, ウスイロシマゲンゴロウ *Prodaticus rhantoides* Sharp, 1882, ヒメフチトリゲンゴロウ *Cybister rugosus* (Macleay, 1825), トビイロゲンゴロウ *C. sugillatus* Erichson, 1834 などのゲンゴロウ上科の種が見られた。

サメハダは, 稲畑 (2016) が奄美大島, 沖縄島, 石垣島, 西表島, 与那国島から記録した後, 石川県, 福井県, 愛知県, 岡山県, 小浜島からも発見された (渡部ほか, 2016; 渡部, 2016; 渡部・保科, 2016; 戸田, 2017; 吉村・渡部, 2017; 末長ほか, 2017)。特に沖縄県の離島部では広域に分布していることから, 過去に記録された標本の再確認やマルケシ属に着目した調査を行うことにより, 今後新規生息地が発見される可能性があると考えられる。

### 引用文献

- 青柳 克, 2011. 池間島の水生昆虫類. 琉球の昆虫, (35): 95-100.
- 稲畑憲昭, 2016. サメハダマルケシゲンゴロウの日本からの初記録. さやばねニューシリーズ, (21): 46-47.
- Satô, M., & A. Komada, 1999. Records of the aquatic Coleoptera from the Island of Ikema-jima, the Ryukyus. Elytra, Tokyo, 27 (2): 571-572.
- 末長晴輝・渡部晃平・山地 治, 2017. 岡山県におけるサメハダマルケシゲンゴロウとオオマルケシゲンゴロウの初記録. さやばねニューシリーズ, (28): 51-52.
- 戸田尚希, 2017. サメハダマルケシゲンゴロウが愛知県にも分布. 佳香蝶, 69 (271): 47-48.
- 渡部晃平, 2016. 石川県におけるマルケシゲンゴロウ属の分布. さやばねニューシリーズ, (24): 53-56.
- 渡部晃平・保科英人, 2016. 福井県におけるサメハダマルケシゲンゴロウの記録と生息地保全に向けた対応. さやばねニューシリーズ, (24): 33-35.
- 渡部晃平・富沢 章・稲畑憲昭, 2016. 本州におけるサメハダマルケシゲンゴロウの初記録. さやばねニューシリーズ, (23): 15-16.
- 吉村優杏・渡部晃平, 2017. 小浜島におけるマルケシゲンゴロウ属 2 種の初記録. さやばねニューシリーズ, (27): 27-28.

(井上大輔 803-0814 北九州市小倉北区大手町  
2-12 三宅モータース(株) 2 F 北九州・魚部)  
(渡部晃平 920-2113 白山市八幡町戊3番地  
石川県ふれあい昆虫館)

### 【短報】石川県におけるチビドロムシ科とナガドロムシ科の採集記録

石川県では、チビドロムシ科はチビドロムシ *Limnichus lewisi* Nakane, ナガドロムシ科はタテスジナガドロムシ *Heterocerus fenestratus* Thunberg, トゲジナガドロムシ *H. tokejii* Nomura の2科3種が記録されている(石川県, 1998).

筆者は石川県初記録となるオオメホソチビドロムシおよびタマガワナガドロムシを採集しているので、県内で採集しているチビドロムシ科とナガドロムシ科の追加記録と併せて報告する。同定は Satô (1966), 林 (2012), 伊藤・前原 (2017) を参考にした。

#### チビドロムシ科 *Limnichidae*

チビドロムシ *Limnichus lewisi* Nakane

1ex., 川北町字朝日 手取川, 8. IV. 2016 ;  
2exs., 白山市桑島 手取湖, 10. IX. 2016 (図1).



図1. 石川県産チビドロムシ。



図2-3. 石川県初記録となる2種。2, オオメホソチビドロムシ; 3, タマガワナガドロムシ。

水際の陸上部から得られた。手取湖においては、水際の土や石の上、その隙間などから多数が確認された。伊藤・前原 (2017) では、本土から記録されたリュウキュウダエンチビドロムシ *Pelochares ryukyuensis* Satô の中に本種として記録されたものが含まれている可能性が示唆されており、従来の記録の再調査の必要性を指摘している。今回採集された個体は Satô (1966) や伊藤・前原 (2017) において図示された触角や雄交尾器等と比較し、チビドロムシとして同定されたものである。

オオメホソチビドロムシ *Cephalobyrrhus japonicus* Champion

1ex., 小松市丸山町大日川, 4. VII. 2015 (図2).

#### ナガドロムシ科 *Heteroceridae*

タテスジナガドロムシ *Heterocerus fenestratus* Thunberg

1ex., 能登町天坂 外灯, 13. VI. 2016.

タマガワナガドロムシ *Heterocerus japonicus* Kôno  
6exs., 川北町字朝日 手取川, 8. IV. 2016 (図3).

手取川のワンド内の水底(泥質)をかき回し、浮いてきた個体を採集した。

#### 引用文献

- 林 成多, 2012. 山陰のチビドロムシとナガドロムシ. ホシザキグリーン財団研究報告, (15): 11-18.  
石川県, 1998. 石川県の昆虫. 537pp. 石川県環境安全部自然保護課.  
伊藤 淳・前原和雄, 2017. 本州のリュウキュウダエンチビドロムシとチビドロムシ. さやばねニューシリーズ, (28): 36-37.  
Satô, M., 1966. The Limnichid-beetles of Japan. Trans. Shikoku Ent. Soc., 9 (2): 55-62.

(渡部晃平 920-2113 白山市八幡町戊3番地  
石川県ふれあい昆虫館)